



# 森の息吹

No.181 10月号  
2021 9月26日発行  
編集代表：五賀利雄  
0133-26-3738

## 9月の活動 Fの森作業&協働の森モニタリング・キノコの観察会は？

**8月29日(日) コープ未来の森づくり「Fの森」植樹地の手入れ作業 天候 晴れ 参加者 9名**  
炎天下の作業を予想していましたが、風も涼しく、午前で予定していた区域の整備を無事終える事が出来、昼食を摂り終了としました。

来年以降も継続作業となりもう少し早い時期から作業日程を組むよう担当者をお願いをしました。

### 9月 5日(日) 弁華別協働の森の会

「モニタリングサイト」および苗畑の生育状況調査 晴れ

参加者 9名

昨年度および本年度のモニタリング区画 2 か所においてモニタリング木の樹種・高さ・径を測定しました。

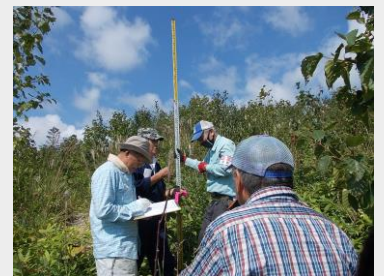
また、必須ではありませんが林間苗圃の苗畑モニタリングサイトの生育状況調査も行いました。



樹種ではシラカバとマカバ(ウダイカンバ)の葉の違いについて学びました。

クエスチョン

葉の形は三角形△か心形♥か、どちらが、シラカバでしょうか……？  
葉の表面を触ってみると「なめらか」か「産毛が生えているよう」か  
どちらがシラカバでしょうか……？



答えは次回の協働の森作業で確認しましょう。

### 9月26日(日) キノコの観察会

天候 晴れ 参加者 11名

予定していた山田山林の作業は、現在大規模な手入れが行われていて、中止としました。

140年の森は春に下草刈りが出来ていない事もあり、現状の把握とキノコの観察会を兼ねて上当受骗に向かいました。

事前に桜田氏より情報のあった、140年の森近くの倒木の処理をチェーンソーで行い、現地に踏み入りました。

トドマツなど針葉樹は生育していましたが、ミズナラなど広葉樹は枯れていました。



来春の雪解けを待って、ミズナラなどの補植と下草刈りを行う事になりました

そして、肝心のキノコはと言うと、これも、桜田氏情報通り、毒キノコさえ生えていない状況でありました。

一部の人々はそれでもラクヨウを数個収穫していた模様です。

残念、無念ということで、早めに解散となりました。



今年は天候は良かったのですが、6月から雨が降らず葉もあまり繁茂せず、今年もダメだなと思っていました。ところが、芋掘りをしてビックリ、予想に反してコンテナ1つ収穫しました。



種苗本数 30本  
味 甘く美味しい  
太いさつまいもは例年、中に芯があり不味いのですが今年はずまで完熟して美味しい。

形状 大きのが多く、小さいのは少なかった。  
収穫量 コンテナ1個  
総括 さつまいもは、日照時間、気温が必要で雨は少なくとも生育に支障はないと思われる。  
今年はずまいもにとってはいい年でしたが他は良くない年でした。うまく行かないものですね

10月 3日(日)

10月の活動予定

内容 弁華別協働の森の会 植栽地の下草刈りと不要侵入木の駆除作業

集合場所と時間 山田氏倉庫前 8:45 土取り場に9:00

持ち物 手のこ・手鎌・刈払い機・腰道具・飲み物 午前で終了

※ 本森林活動は国から助成金を頂いています。

当日は活動内容の指導、助言を行う事を目的としてアドバイザーによる視察が予定されています。多数の参加をお願いします。

詳細は同封の「協働の森の会通信」を参照してください

お知らせ

「シラカンバ」はこの度、苫小牧・和みの森において森づくりボランティア活動に取り組んできた功績に対して全国育樹祭北海道緑化等功労者知事感謝状を頂くことになりました。

10月10日(日)に小松さんが感謝状贈呈式に出席予定です。



つつどり

編集後記 ～～がんばれオリックス

プロ野球話です。神戸出身の私はずっとずっと「オリックス」ファンです。

25年前の優勝も神戸の球場、ライトスタンドで味わいました。

そして、ながらく、万年最下位争いに終始している我がチームです。

しかし、今年は交流戦以降、熾烈な優勝争いに参加しています。

シーズン終盤のこの時期に、毎日ワクワクしながら応援出来るのは

とっても嬉しいことです。勝っても負けても「夢をありがとう」です。

